

新 消防長・消防団長 ご紹介



今治市消防本部
消防長
福田 吉三郎
ふくだ よしまさ

4月1日付けをもちまして、今治市消防長を拝命いたしました福田 吉三郎です。
消防職員一同、地域防災力の要である消防団の皆様と連携強化を図りながら、市民の安全安心を守るため、専心精励して参る所存でございますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



四国中央市消防団
団長
曽我部 光夫
そが べみつお

この度、4月1日付けをもちまして四国中央市消防団長を拝命いたしました曽我部 光夫です。
地域に根差した消防防災機関として、常備消防及び各地区自主防災組織との連携を深め、地域防災力のさらなる向上を図りたいと考えています。
今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今治市消防団
団長
渡部 純三
わたなべ じゅんぞう

4月1日付けをもちまして今治市消防団長に就任いたしました渡部純三です。消防団長を拝命し、責務の大きさに身の引き締まる思いです。
これからも、「住民が安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指し、団員の資質向上と組織の充実強化に努め、活力と魅力のある消防団づくりを進めていきたいと考えています。



宇和島地区広域
事務組合消防本部
消防長
丸川 一郎
まるかわ いちろう

4月1日付けをもちまして、消防長に就任いたしました丸川一郎です。
伝統ある消防行政を担う重責を痛感し、身の引き締まる思いです。
複雑多様化する災害から地域住民の皆様の安全を守るため、消防職団員が一丸となり、職務に邁進する所存であります。今後とも、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東温市消防団
団長
中島 幸一
なかしま こういち

この度、4月1日付けをもちまして、東温市消防団長を拝命いたしました中島幸一です。
「自分たちのまちは自分たちで守る」郷土愛護の理念と、生命、身体、財産をあらゆる災害から守るという崇高な使命のもと、団員一丸となって頑張る所存です。
関係機関の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



八幡浜市消防団
団長
藤原 展嘉
ふじわら のぶよし

この度、4月2日をもちまして八幡浜市消防団長を拝命いたしました。
「自分たちの地域は自分たちが守る」という消防団精神のもと、団員一丸となって防火防災活動に取り組んでまいりたいと思っております。関係機関の皆様には変わらぬご指導ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願いいたします。



大洲地区広域消防
事務組合消防本部
消防長
和氣 和清
わき かずきよ

4月1日付けをもちまして大洲地区広域消防事務組合消防長を拝命いたしました和氣和清です。
地域防災力向上のため、消防団・自主防災組織との更なる連携のもと、住民の皆様が安全・安心に過ごせるまちづくりを目指し、職員一同専心精励いたす所存でございます。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



上島町消防団
団長
柏原伸一郎
かしはらしんいちろう

この度、上島町消防団長に就任いたしました、柏原伸一郎です。
近年、日本各地で発生している災害に対して、消防団への期待は高まるばかりです。地域消防の要であることを自覚し、住民の生命・身体・財産を守っていく所存でありますので、関係機関の皆様方、ご協力をよろしくお願いいたします。



西条市消防団
団長
高橋 公一
たかはし こういち

4月1日付けをもちまして、西条市消防団長に就任しました高橋公一です。
地元住民の生命・身体・財産を守るという消防の責務を全うすると共に「消防団広域相互協定」に基づき県内活動も考慮した組織作りの必要性を感じております。
団員一丸となり「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」実現に向け、務めて参りますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



東温市消防本部
消防長
和田 悟
わだ さとしる

この度、4月1日付けをもちまして、東温市消防本部消防長を拝命いたしました和田悟です。
近年の自然災害は、大規模化、激甚化、頻発化しており、更には南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、消防に寄せる期待は高まっております。
消防団をはじめ、自主防災組織等と連携を深め、地域防災力の向上に努めてまいります。今後とも、ご支援、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



内子町消防団
団長
古田 元昌
ふるた もとまさ

令和2年4月1日付けで内子町消防団長に就任しました。
今日、地域防災の要として消防団に求められることは多種多様化しており、常備消防はもとより地域の自主防災組織他関係機関と連携を取り、団員相互のコミュニケーションを図りながら消防活動をはじめ、地域の防災活動を円滑に進められるよう訓練に努め、町民の皆様から信頼される消防団として自覚と誇りを持って安全安心のまちづくりの一翼を担っていく所存です。
皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 土居 敏夫
一部53円

令和2年度全国統一防火標語
その火事を
防ぐあなたに
金メダル

イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国の緊急事態宣言や愛媛県の動向を踏まえ、左記大会は中止することとなりました。御理解をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年5月20日(水)

愛媛県消防職団員慰霊祭及び

愛媛県消防大会

令和2年7月26日(日)

愛媛県消防操法大会

令和2年10月16日(金)

全国消防操法大会

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ
FT500
B-2級
FT450
B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に
間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi
B-2級
FF450ZXi
B-3級



操法で活躍!

SHIBAURA

信頼と実績の
キャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

第19回 消防団幹部候補中央特別研修に参加して



大洲市消防団
北分団
分団長
谷本直俊

防団員と交流・意見交換が行えたことは、消防団員として活動する上で、貴重な経験となりました。この研修に参加する機会をいただいた、愛媛県消防協会・大洲市消防団に心から感謝を申し上げ、研修報告いたします。

令和2年2月5日から7日までの3日間、全国各都道府県から推薦された消防団幹部候補生が東京虎ノ門の日本消防会館に集まり研修を行いました。出発前から課題討議班・第2班の班長の指名を受け、緊張し不安なまま受付を済ませ指定された席へ、周辺の席の方と先ずは名刺交換を行いました。皆さんが、愛媛県大洲市の住所を見て、西日本豪雨の時は大変だったでしょうとお声掛けいただき気持ちが和み始めました。開講式を終え、日本消防協会秋本会長の講話から始まり、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けた重点取り組み事項等についてお話を聞き、初日の講義は終了。その後場所を移して行われた意見交換会では、消防団員だけに話題はポンプ操法の話でも盛り上がりしました。



久万高原町消防団
美川方面隊
班長
倉橋広幸

2月5日開講式前「起立・敬礼・着席」の入念なりハ・サルから始まりました。全国各地から参加した136名が忽ち身の引き締まる思いを感じたことと思います。

自治体消防制度は、平成30年3月、70周年を迎えました。近年、災害、事故の様相変化、社会経済の変化、科学技術の進歩、消防をとりまく環境は大きな変化がみられ、防災・減災推進のなかで、これにどう対応していくか、課題は多くあります。

今回の研修において、自分が所属した4班では「サ・ラ・リーマン化が進む中で、効果的な活動方策について」という課題討議を3日間の中で班員と意見交換を行いました。多くの課題の中から「職場や家族の理解が困難」という課題については、消防団活動についての周知・PR等を強化する。団員への待遇改善や団員が所属する企業への優遇措置を行う。などの意見から、既存する制度(協力事業所表示制度)の活用や自治体による制度の制定・充実を求めていることが効果的であるという結論になりました。

全国的な少子高齢化の進む人口減少社会の中で団員の確保は急務であり、少しでも企業側へのメリットが打ち出せれば、職場内での団員も増加し、企業における防災に対する基盤強化にも繋がると感じました。

しかしながら、久万高原町のことを考えると、大きな企業もなく、高齢化率も県下一、よって団員の平均年齢も上昇傾向にあります。わが町の防災・減災対策を考える中で、地理的な要因もあり、他の地域での取り組みが決して有効ではない現実があります。幸いなことに現在まで大規模な災害はありません。後高い確率で発生するであろう「南海トラフ巨大地震」への危機感を持っている人も少ないのが現状ではないかと思っています。自分もその一人なのではないでしょうか。

最後に、今回の研修では、住んでいる地域も年齢も職業も違う人たちが、消防団員という使命の基に研鑽に励み、志気高め有意義な研修会でした。関係者の皆様、大変ありがとうございました。現

研修風景



在も、そしてこれからも3日間の研修で学んだ事を胸に、地域の安心安全の一助になれるよう邁進していきたいと思います。



西条市消防団
大町分団
班長
片山大樹

この度令和2年2月5日から7日の3日間東京の日本消防会館で行われた第19回消防団幹部候補中央特別研修に愛媛県東予地区代表で参加いたしました。研修では「消防団を中核とした地域防災力の向上について」というテーマで、課題として住民の防災意識の向上や防災知識の少なさ等があげられました。実際、いつ起こるか分からない災害に対して備えをと言われてもなかなかできるものではありません。しかし起こってからでは遅いのです。「しとけばよかった」と思う前にどうすれば地域の方々に行動に移してもらえるか考えました。

私たち消防団は各地域の地理・住民等、地域に密着している方々がほとんどだと思います。なら、私たち消防団が色々な活動を通じて、少しずつでも知識や防災について伝えていけばどうかと考えます。今の時代はSNS等の発信も多くなっています。その様な発信もひとつの手段です。

実際、大規模災害が起きると消防本部だけでは対応できない事は、過去の災害事例でも起きていることです。そこで必要とされるのは地域で活躍している消防団なのです。そのため消防団が中核となって活動しなければいけません。地域密着だからこそ出来る事があると思います。地域の防災力が上がれば被害も減ります。助かる命も増えます。

その為にも、消防団と地域のコミュニケーションを向上し、防災がどれだけ大切かを理解してもらい、災害が起き被災した際に何もできない住民ではなく、自助・共助ができる地域づくりをしていくことで、地域の防災力は向上すると思います。

これから先いつ起こるか分からない災害に対して、消防団と地域が協力して一人でも多くの命が助かるように消防団員として訓練や活動をしていきたいと思います。

今回の研修で身に付けた知識や経験を多くの団員に伝えこれからの消防団の向上につなげたいと思います。



東温市消防団
本部女性班
班長
高橋知佐子

令和2年2月19日から21日の間、東京虎ノ門日本消防会館において、新型コロナウイルス感染症が国内で発生し感染増加が懸念される中、全国の各都道府県から集まり、秋本会長から「近年の災害は前例がない。そういう時だからこそ、消防団の結束を高め、防災へ



一層の努力をしなければならない。」と奮起され、消防団幹部候補中央特別研修が開催されました。

研修会では、消防団員が減少にある現状やそれに伴う消防団員の処遇の法律改正など、消防団の役割や

中でも、海外では消防活動をするのが66%消防団員で、活動報酬も無くボランティアで行われているとの事でした。国土の大きさや気候も違うので、「確かに、消防署員だけでは無理やろなあ、でもボランティアで網羅できるんかなあ」なんて思っていたのですが、海外の消防団員の人たちは「自分たちが自分の街を必ず守る、消防団の仕事が出来ることがとても荣誉で幸せである」と、自分との消防団意識や責任の違いに驚きました。それに伴う、自身の命を守る為の訓練や装備の充実もしているそうです。子供の教育にも盛んに行われており、とても興味ある講義でした。

また、女性消防団員の役割について、グループ討議、発表をしましたが、班長9名、北は青森県、南は宮崎県と各県各市町村でそれぞれ女性消防団の役割は違い、男女の仕事は完全に分け、管内全ての救命講習を一手に引き受け活動している所や、消火活動や操法訓練など男性団員と一緒に活動している所と様々で、自身の刺激を受ける討議となりました。

池袋防災館の見学もさせて頂き、火事の煙からの避難、地震からの避難、初期の火災訓練と、実践的で防災意識の向上と初期対応の技術習得をすることが出来ました。

研修を受けて、知らなかったこと、わからなかったことも、たくさん得られ、自分が出来る事は微力かもしれませんが、今後の消防団員活動に活かしていきたいと思っています。

貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



伊予市消防団
部長
小西千鶴子

令和2年2月19日から21日までの2泊3日、全国から87名の女性消防団員が参加し、消防団幹部候補中央特別研修が開催されました。本研修では、県内の研修会では勉強できないような講義や全国津々浦々から集まった女性消防団員との情

<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)

豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめあげたCD-1

小川ポンプ工業株式会社
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

報告交換ができたことなど、非常に有意義な三日間でした。

研修生を十班に編成のうえ、各班に課題研究テーマが与えられ、私の班では、「女性消防団員による新たな消防団活動の展開について」のテーマの下、救命救急活動、ひとり暮らし高齢者宅訪問活動や子供向け啓発活動など各活動時の課題を解決し、現在の活動をどのように展開すれば、新たな消防団活動にできるか、みんなで話し合いをしました。

女性消防団員の活動は「後方支援活動」と言われます。男性団員のように火災現場で筒先を持って消火活動したり、資機材を使って救助活動するわけではなく、台風襲来や地震などの大規模災害発生時、私達が取り組む活動に、女性の知恵や地域の特長をどう取り入れていくか、今回の研修で知ることができました。

災害はいつやってくるかわかりません。今日、明日にも来るかもしれません。女性消防団員は、いつ災害が発生しても直ちに活動できるように、後方支援活動をマニュアル化し、マニュアルに基づいて訓練を行い災害に備えることが重要です。

今回の中央特別研修では、知識を学ぶだけでなくそれぞれの活動現場で抱えている問題が見え、違う目線から解決のためのアプローチを学ぶことができ、とても勉強になりました。

全国の女性消防団員の思いは、一つ。地域を守ることです。

マンパワーワンチームで地域を守りましょう。

第46回消防団 幹部特別研修に参加して



四国中央市消防団
副団長

曽我部 光夫
そがべ みつお

東京都にある日本消防会館での4日間の特別研修を終え、私は日頃からの防災意識を持つ事の重要性を再認識しました。

本研修では、秋本会長による講和「防災の原点を高める地域力・防災総合力」を始め、消防庁や大学教授など有識者による「防災対策」「首都圏と南海トラフ地震への備え」「気候変動と気象現象の激化」「惨事ストレス対策」「火災防災」「危機管理」と、最新情報を取り入れつつ、難しい内容でありながらも大変分かりやすく、感慨深い内容の講義を受けさせていただきました。今後、消防・防災機関が新たな課題に向き合い、困難な状況に対応するための「総合力」の底上げを意識して行っていくかなければならないと、痛感しております。

現代においては、世界中のいつ、どこで、地球温暖化による豪雨災害や巨大地震などの大災害が発生するか予想できない状況となっており、今は平穏な私達の地域もまた同様です。

大災害が起きた時、行政と協力し活動の中心を担うのは、その地域を知り尽くした地域の消防団です。その事を踏まえ、自主防災会や自治会、地域の各種団体、地域の皆さんと共に、まずは危機意識を共有し協力しながら、多様な場面を想定した訓練の実施や避難経路の再確認を徹底すること。また、各戸においては家の耐震や家具の転倒防止対策に努めることを目指したいと考えております。そうすることで、約83%の人の命が助かるということも本研修で学びました。これらの実現は難航することもあるかと思いますが、日常の平穏に気を抜かず、地域に

対して発信することとを重要であり、消防・防災機関の責務であると考えます。



今後、予想外の大災害が起きた時、一人でも多くの住民が無事でいられるよう、大切な家族を失うことのないように、日々の防災意識と確かな防災システムを確立することが必要だと改めて考えさせられる、大変有意義な研修でした。

一般住民の防災活動等



レディス&ママ防災カフェ
代表
山本 直美
やまもと なおみ

女性防災士の作り方

毎月第3土曜日午後1時30分に市内防災用品専門店の2階で「レディス&ママ防災カフェ」が開店します。「防災」という言葉にアンテナが反応し、お友達と誘い合わせて入店すると「あら、いらっしゃい」とカフェ創業者の女性防災士に出迎えられる、お茶をいただきながら、防災について意見交換をしたり、「こんな便利なグッズがあるよ」と色々な防災用品について詳しく紹介していただけます。

また、女性防災士から、今治市防災士会の研修や講演会のお話を聞いたり、実際に講師をお招きするなど、生きた「防災」にたくさん触れることができます。知れば知るほど、「もったいない!」「月1回2時間では防災について語り尽くせない!」という思いが湧き上がり、カフェを飛び出して地域の防災訓練に参加するようになります。

ここまでくれば防災士になるしかない!

防災士になるからには、住んでいる地域で活動するのがベスト。防災士になるには日本防災士機構が認証した機関が実施する「防災士養成研修講座」を受講のち試験を受けます。そして試験に合格すれば、晴れて「防災士、一丁出来上がり!」となります。

「防災のこと、気になるけれどどうすればいいの?」そんな防災難民だった私が、仲間を作り、知識を養い、防災士として地域とつながり、活動するきっかけとなったのは、レディス&ママ防災カフェです。女性が集まってお茶を飲みながら防災について世間話をする場所であり、気兼ねなく疑問や提案、希望が言い合える場所。ユルいけど確実に生きた知識が増える場所です。

2年前にはこの場所から、今治スマート防災ノート「スマボ」を誕生させました。助成金や、市内企業からの寄付金を活用し、女性の視点で作った欲張り防災ノートです。ただ配布するだけでなく、ワークショップとセットで活用しています。

これからの、私たちの防災に対する熱い思いと



共に、日々変化する生活に防災士が発信したいと思っています。

女性消防団だより



松山市消防団
女性分団
部長
里 信子
さと のぶこ

島民の心に寄り添う消防団活動



松山市消防団では、平成14年に女性団員が初めて採用され、60名でスタートしました。18年目を迎える今、団員数も年々増加し、今では96名となりました。応急手当指導員の資格を取得し、市民への指導を行うにあたり、個々のレベルアップのため、毎月1回勉強会を行っています。今では、小中学生を対象とした「命の教育」や事業所での短時間救命講習などには、女性団員のみで指導にあたるまでになりました。

平成23年4月に、本市で41番目の分団に昇格して「女性分団」となり、平成30年4月には女性分団と大学生消防団員を統括する「女性の副団長」が発用されました。そして、女性と大学生が連携して避難所での支援活動などを充実させていこうと決意を新たにしました。矢先、平成30年7月豪雨が発生しました。

松山市には、9つの有人島があり、そのうち6つの島「旧中島町」が第9方面隊です。私の住んでいる中島本島では、人災はほとんどありませんでしたが、他の島で、夜半に家屋が倒壊し、子どもを含む3人の尊い命が奪われました。身近でこのような悲劇が起こり、開設された避難所に避難していた方々も、不安を抱えながら窓からの惨状を見つめていました。島のあちこちで道路が寸断され、11カ所の避難所のうち3カ所にしか行くことができませんでした。無事であるからこそ、ここに避難することができたのだと、身近な人たちの無事に私たち団員も胸をなでおろしました。そして、消防団員として、避難された方々の不安や心配事を少しでも取り除くことができたことは、今後につながる貴重な経験となりました。

後日、晴れた空のもと、「この間はありがとう。避難所であたたかいものが食べられてうれしかったよ。」と声をかけていただいた時には、少しほっとした気持ちでした。

過疎化と高齢化の進む島嶼部では、特に女性団員の確保は大きな課題となっています。助け合いの精神で団結して生活していくことが求められる島の暮らしの中で、独居高齢者訪問や地区防災訓練など女性団員の活動が島民の心に響けば、新たな入団へつながっていくと信じて、これからも地道に、心に寄り添う活動を続けていきたいと思っています。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- 消防ポンプ自動車
- 消防ホース
- 防災・救助機器
- 避難用品
- 小型動力ポンプ
- 消防被服
- 消火器・消火装置
- 自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る
MORITA
消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準活動服
新基準による
消防団員活動服



SHIBAURA
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース
操作大会最優秀ホース
コンペVシリーズ

(株) 岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyokai.co.jp

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験

- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



株式会社 四国消防

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp

支部だより



八幡浜市消防団

団長 藤原 展嘉

八幡浜市消防団の 再編について

平成17年3月の合併で新たな八幡浜市消防団となってから15年が経過しました。

全国的に消防団員の減少と高齢化が問題となっていますが、当市消防団においても合併時と比べると基
本団員数は163人減少、平均年齢は6.5歳上昇し、団歴の長い団員が増加しています。

このような中、人員の確保が困難で多くの欠員が有り、今後も人員確保が難しい分団・部や、被用者団員の増加によって、平日の日中は出動可能な団員が不足し、最低出動人員を充たせず出動が遅れる可能性のある部ができています。また、部によって人員確保能力に大きな差があることから、これらを改善し消防団員が活動しやすい体制づくりを進めるため、再編計画を策定しました。

再編計画については、平成29年度に設置した消防団の幹部(本部と各地区の分団長)で構成する検討委員

会の中で素案を作成し、素案を基に各地区分団の意見を反映させ、現在発生している問題だけでなく、10年、15年先を見据えて起こり得る問題を解消するために必要な対策を反映させました。

再編方法は、部単位の管轄範囲を廃止、分団単位で管轄範囲を設定し人員確保等を行い、人員確保が困難な分団を人員確保が容易な分団と統合・再編して分団・部ごとの人員確保能力を均等化するようにしました。分団数は15分団から13分団となり、これまでの詰所1棟を1つの部とする組織から車両1台を1つの部とする組織としました。定員は791人から757人に削減しますが、これは消防団の規模を縮小するものではなく、今後も人員増加を見込めない分団の欠員を整理するものです。

施設整備については、市内に40カ所ある消防団詰所・車庫を詰所28カ所、車庫1カ所に統合再編し、参集拠点数を減らすことで、広範囲から1カ所に団員を参集させ、いち早く最低出動人員を確保し初動対応を早める効果を狙います。また、消防団維持のため、分団の拠点となる詰所には車両を2台配備し、車両台数を維持することで消防力の低下を防ぎます。

再編時期については、分団・部の組織編制を令和2年4月1日に行い、詰所の統合は施設整備など、ハード面の環境が整備できたところから令和6年度までに順次行う予定です。

消防団を取り巻く現状は厳しいものがありますが、八幡浜市消防団が

よりよい組織となるよう今後も精一杯取り組んでまいりたいと思います。



特別研修レポート

「大規模災害対策研修」

令和2年3月4日13時～16時50分

於…愛媛県消防学校大規模訓練場

参加…愛媛県内救助隊員・えひめ救助犬チーム(救助犬2頭・宇和島市・八幡浜市消防本部ほか30名)

目的…大規模土砂災害現場での指揮体制確立、関係機関の連携、二次災害防止想定…前線停滞後の集中豪雨で崖崩れ2階建て住宅が被災



愛媛県消防学校の特別研修で災害救助犬と連携した救助訓練が実施された。当日は雨上がりとはいえ足場がぬかるむ災害現場さながらの悪条件。まずは現場指揮本部から救助犬のハンドラーに情報が伝えられ、救助犬が倒壊家屋に閉じ込められた生体の要救助者(学校教官)の搜索を開始。

救助犬は一目散に瓦礫内に進入し、わずか1分程度で要救助者を捕捉、「ワンワン」の声で周囲に閉じ込め者があることを知らせ、その能力の高さを示した。その後、バックホーと連携した救助隊員が生き埋めの複数ダミーを慎重かつ冷静に救出した。最後に、家族からの情報をもとに生き埋め者の数と救助済みの人数の突合後、再度救助犬が投入され最終的な確認がなされた。

訓練後の検討会ではハンドラーから「救助犬も今回のようにリアルな現場での訓練が欠かせない、経験を積ませるためにも訓練計画時には積極的な声がけを頂きたい」との意見を頂いた。

また、当日はドローン2機を使用して現地を俯瞰する位置からの映像が撮れた。がけ崩れ現場での亀裂などの異常確認ができるため、二次災害防止の観点からも今後の普及活用が望まれる。

要救助者のコメント「隠れた場所に救助犬が来て自身の体に触れ、匂いをかいだあ」と吠えた。一所懸命に要救助者を確認していたようだ。」



最強コンビ



トーハツ VCPROIII



キンバイスーパーランナーホース

ポンプ操法



株式会社 ヤマダ

1910年創業

愛媛県イメージアップキャラクター
登録商標 2805024 みきやん

TOHATSU

小型消防ポンプ VF シリーズ
電子制御 燃料噴射装置

株式会社 吉谷機械製作所

消防ポンプ自動車
化学消防自動車

テイセン

テイセン救助工作車
キンバイ消防ホース

YAMATO ROTEC

ヤマトプロテック
粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸 1 丁目 2 番 26 号

TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

各種消防ポンプ車 救急車 高度医療機器 販売	防災用品 各種消防設備 販売
消防防災設備 給排水設備 設計・施工・保守	
新日本 ライ テック	
日本機械工業 株式会社 代理店	ヤマトプロテック 株式会社 代理店
http://www.sn-lt.com	
南予営業所 〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130 tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323	本社 〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号 tel.089-908-5766 fax.089-908-5767